

日本女子大学大学院文学研究科

紀

要

第26号

歌人五島美代子の定型超克への軌跡 — 破調をめぐる —	濱田美枝子	1
『桑実寺縁起絵巻』と慶寿院の結婚をめぐる(下)	小谷量子	19
明治期の日本養蚕業と養蚕書 — 出版状況の検討 —	土金(土井) 師子	41
南北朝時代における地方武士の動向とその待遇 — 播磨国を通して —	清水優果	57
衣服から編地へ…ヴァージニア・ウルフの作品における衣裳の表現とその展開	押田昊子	1
発話修復場面における「なんか」の使用について	杉崎美生	19
パブリック・スピーチにおける問いかけのメタ言語的機能について	櫻田怜佳	37
令和元年度大学院文学研究科学位論文・修了論文題目・研究主題一覧		51

令和元年  
日本女子大学

日本女子大学大学院文学研究科

紀要  
第26号

令和元年

JOURNAL

of

The Graduate School of Humanities

26

Clothes, Texture and Text:

Various Sartorial Images in the Work of Virginia Woolf	OSHIDA Koko	1
The Use of Japanese “Nanka” in Repair Segments	SUGISAKI Miki	19
The Meta-linguistic Functions of Questioning in Public Speaking	SAKURADA Reika	37

Tanka Poet Miyoko Goto's Path Toward Overcoming Fixed Literary Forms:

An Examination of Broken Meter	HAMADA Mieko	1
<i>Kuwanomidera Engi Emaki</i> and the Wedding with Keiju-in (2)	KOTANI Ryoko	19
The Japanese Sericulture Industry and Sericulture Techniques Books in Meiji period: An Analysis Focusing Bibliographic information	TSUCHIKANE (DOI) Kazuko	41
Conduct and Treated of Local Samurai in the North and South Era: Through Harima Country	SHIMIZU Yuka	57

2019  
Japan Women's University

## 日本女子大学大学院文学研究科紀要

### 編集規定(抜粋)

1. 本紀要は、本研究科学生および修了者に対して、研究を発表する場を提供することを主たる目的とし、毎年三月に発行する。
2. 略
3. 本紀要に執筆できる者は、以下の通りとする。①本研究科在學生、②本研究科修士課程または博士課程前期修了者、後期課程の所定の年限以上在籍し所定の単位修得後に退学した者、本研究科において博士の学位を授与された者、③本研究科専攻教員。
4. 本紀要に掲載する論文は、単著・共著を問わない。ただし共著の場合は、執筆者の少なくとも1名が、本規定第3項に該当する者であること。
5. 論文の執筆者が、本規定第3項の①または②に該当する場合は、当該専攻による選考を経ること。
- 6・7. 略
8. 執筆者には抜刷40部を贈呈する。それ以上は、実費を本人負担とする。
9. 本紀要に掲載された論文等(書誌情報、画像情報、本文)の著作権(著作財産権、copy-right)は執筆者に属するが、執筆者は本学リポジトリなどへ電子化し公共の利用に供すること、および、それに付随する複製権、公衆送信権の行使について日本女子大学に許諾する。

### 執筆要項

1. 原稿は、図表および注を含めて400字詰原稿用紙30～50枚とする。英文の場合はこれと同等の長さとする。
2. 原稿の紀要委員会への最終提出期限を10月末とする。
3. 原稿は、原則として横書きとする。ただし、日本文学および史学専攻においては縦書きとすることができる。
4. 原稿は、原則としてデジタルデータとプリントアウト2部を提出すること。デジタルデータには作成環境、氏名をテキスト形式で明記すること。(事故に備え、提出前にあらかじめ原稿のコピーを手元に保管しておくこと。)
5. 原稿には、英文タイトル、ローマ字氏名、所属および大学院修了年を明記すること。ただし、英文論文は、日本語タイトル、氏名を明記すること。
6. 原稿には、横書き和文700字程度の要旨と、英文による500語程度の要旨を、そして和文・英文ともにそれぞれ5語以内のキーワードを添付すること。
7. 図表は、本文とは別紙に書き、「図1」「表1」のように通し番号をつける。表の題名はその上部に、図と写真の題名は下部に書く。説明文はいずれも下部に書くこと。そして、本文の右余白に、表、図、写真の挿入箇所を指定しておくこと。
8. 校正は原則として再校までとし、著者が行う。

## 日本女子大学大学院文学研究科紀要 第26号

令和2年(2020) 3月15日 発行

編集委員 衣川隆生・高梨博子・高頭麻子  
寶槻たまき・熊谷由里子・大松さやか

発行者 日本女子大学  
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1  
電話 03-3943-3131 (代表)

印刷 株式会社 秀 飯 舎  
〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田70  
電話 048(624)1121